

令和7年度一般財団法人山梨県地場産業センター事業計画書

事業計画

基本方針

地場産品を一同に集めて展示・販売する山梨県唯一の施設として、各地場産業組合と連携を強化し、魅力ある品揃えに努め、販売力の強化を図ってまいります。

ふるさと納税返礼品の取扱いにつきましては制度改正へ適切に対応するとともに、出展者との連携を強化し、取扱い数・取扱い額の増加に努めてまいります。

また、広く県内外の多くのお客さまにご来館いただき、山梨県の地場産品を良く知っていただけるよう情報発信を行ってまいります。紙媒体に加え、SNS等の発信も心掛けてまいります。

施設の維持管理につきましては、安全安心と法規制への対応を第一義とし、優先順位を考慮して適正に行ってまいります。

令和7年度は開館40周年記念事業を予定しております。11事業組合、210社有余のお取引先と【かいてらす】の存在意義と中長期的な方向性を共有し、地場産品の振興に繋げてまいります。

事業実施計画

1 商品力の強化

- (1) 活気溢れる販売フロア(レイアウトの変更)の改革
- (2) 新規取扱商品の発掘により、品揃えの充実を図る
 - ① 新聞掲載商品や話題性のある商品の導入に向けた商談
 - ② 未扱い商品、未扱い分野の開拓
 - ③ 未扱い催事、話題性のある店頭販売商品の開発
- (3) 既存商品の品揃えの見直し
 - ① 取引先とのコミュニケーションを高め、「売れ筋」の商品の導入を図る
 - ② 他店調査(サービスエリア、道の駅など)は継続し、商品開発に努める
- (4) 全国の地場産業センターとの連携を強化
- (5) ふるさと納税返礼品の新商品の発掘に努める

2 販売力の強化

- (1) 誘客活動の推進
 - ① 観光エージェントの囲い込み
 - ② やまなし観光推進機構、甲府商工会議所、山梨県中小企業団体中央会などとの連携により、観光業者訪問や商談会に積極的に参加してPR活動に努める
 - ③ 県内観光施設を訪問し、パンフレットの配布依頼やPRを依頼する
 - ④ グーグルマップを有効に活用し個人顧客の誘客を図る
 - ⑤ イベントを拡充し集客に取り組んでいく
- (2) 販売チャネルの拡充
 - ① ECサイトの充実を図る
 - ② 山梨県・甲府市の「ふるさと納税」返礼品の充実に取り組み、販売強化を図る
 - ③ インスタグラムフォロワー、LINEアカウント登録者等を増やし、SNSを有効活用することで「かいてらす」の認知度の向上を図る
 - ④ ロコミ、無料通信アプリ、低料金販促ツールの開発・研究に取り組む
- (3) 販売員教育の実施
 - ① 外部オンラインセミナーや研修会への参加により、商品知識の向上を図る

- ② 各種展示会やイベントを見学する事により、接客技術やプレゼンの勉強をさせる
- ③ ミーティングを行い、課題や目標の徹底、問題点の共通認識、意識改革などを図る

3 経営の健全化

(1) 数値実績の把握と差異対策

- ① 月次損益の把握
- ② 支出管理の徹底

(2) 販売フロアの収益向上

- ① 販売強化を図るため、開館 40 周年記念イベント、春の地場産まつりの他、7 月と 12 月のボーナス時に割引セールを行い、収益向上を目指す
- ② 販売フロアを有効的に活用する中、フロアの賑わいや華やかさを演出し売上向上を目指す
- ③ 1F フロアの利用者の新規開拓に取り組んでいく

(3) 会議室の収益向上

- ① 空室情報の発信や利用者の事前確認など、従来のサービスは継続していく
- ② 老朽化した必要備品は順次更新などを行い、サービスの向上を図る
- ③ 事前予約に注力し、リピーター率の向上を図っていく
- ④ 大ホールの利用先を開拓し、利用率の向上を図っていく

(4) 経費削減

- ① 職員一人ひとりが経費削減の意識を持って取り組んでいく
- ② 省エネ設備をさらに推し進め、水道光熱費の高騰に対処していく

(5) 将来を見据えた運営方針の検討

- ① 費用対効果を考慮した業務の見直し
- ② 収支に見合ったイベントの開催
- ③ 年間事業に対する広報を見直して、安価で効果的な媒体を検討する
- ④ 販売チャネルの多様化を図る
- ⑤ センター運営に関する方向性の整理
- ⑥ 人材育成強化と能力向上を図る